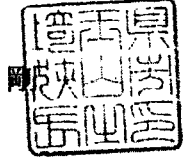


狭広発第 20 号
令和 7 年 7 月 14 日

入曽まちづくりの会
代表 松山 やよい 様

狭山市長 小谷野



要望書について(回答)

このことについて、下記のとおり回答いたします。

記

- 1 県と連携し、県道入曽駅停車場線の自動車抑制策を講じ、歩行者・自動車の安全性を確保し、同県道と東口駅前広場との歩行者の直接往来を可能にすること

【回答】

ご指摘の箇所のガードパイプについては、車両の侵入防止柵として設置していることから、現在の高さ以上にかさ上げる考えはありませんが、迂回ルートの周知や注意喚起により、多くの方が正しい経路で通行するようになっていることから、状況を見据えたうえで、引き続き利用者一人ひとりの安全意識の向上に努めたいと考えております。

次に、県道入曽停車場線の安全対策については、現在は交通規制などを行う予定はありませんが、実施する際には、道路管理者である埼玉県や警察との調整が不可欠であることから、必要に応じて連携を図ってまいります。

(担当 市街地整備課)

- 2 入曽駅西口自転車駐車場に代わる恒久的な駐輪施設を早急に検討・整備すること

【回答】

令和 5 年 8 月 1 日に開設した入曽駅西口自転車駐車場については、従来の駐輪場の機能を確保、継続しつつ、入曽駅周辺における民間駐車場との均衡を保ちながら公共用地を有効に利活用していくより良い場所である

との考えから選定したものであります。

また、利用者の駅に向かう安全対策については、道路管理者の川越県土整備事務所と狭山警察署との間で協議した結果、県道8号線川越入間線の横断歩道の車道上下線に路面標示を入念に施し、かつ、本市においても注意喚起の看板を新たに設置するなど、駐輪場から駅を利用する歩行者の安全確保に努めております。

現在の入曽周辺における市営自転車駐車場の利用状況では、入曽駅東口自転車駐車場については、一部余裕が見られ、入曽駅西口自転車駐車場については、収容可能台数に対し、半数程度の利用となっています。また、入曽駅周辺には民間自転車駐車場も多数営業されていることから、入曽駅周辺の自転車駐車台数に不足はないものと捉えており、現時点では、新たな自転車駐車場を整備することは考えておりません。

今後は、放置自転車及び駐車自転車が通行の妨げとならないよう放置自転車禁止区域の警戒監視を続けるとともに、民間自転車駐車場の状況についても注視しながら、適正規模や管理運営形態の必要な検討を行ってまいります。

なお、鉄道事業者からも「今後の変化やニーズを勘案した上で、入曽駅周辺の自転車駐車場の整備については、決定していく。」と伺っております。

(担当 交通防犯課)